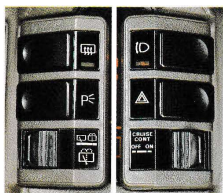


クピットには、フェアレディZ独自のリリズムがある。まさに、選ばれた者だけの聖域である。



インスト集中「クラスタースイッチ」
正面に置かれたメーターパネルの左右に、各種の操作
としてセット、視認性と操作性とを向上させるとともに、
整然とした新鮮な印象をあたえている。右側のスイッ
ヘッドランプのライズアップスイッチ(点灯はしない)。
スイッチとして、ASCD(オートスピードコントロール装置)
スイッチ。ASCDの装備していない車種ではイルミネー
ールスイッチとなる。左側のスイッチはリ
パーキング、そして、リヤウインドワイパー(Zを除く)
手である。ドライバーの手近に集中してセットしてある
スムーズに行える、すぐれた設計である。



最強のポテンシャルをもつクルマには、それにふさわしいムードと機能をもつ高水準の
コクピットが要求される。いま、空前のパワーをもつVG型ターボエンジンを擁して、ニ
ューフェアレディZには本物のスポーツスピリットが蘇った。そして、まさにそれに呼応
して、一分のスキもない、高密度のコクピットが用意されている。低く、安定したドライ
ビング姿勢を生む絶妙なシート設計。コーナーでの横Gにも安定した体勢を維持する
大型のフットレスト。すぐそばでメタル配置。そして、真正面からドライバーを見据える大
径2連のスピードメーターとタコメーター。視やすく、正確な各種計器とインジケータ



一類——ニューフェアレディZは、再び、流行のデジタルメーターを排して、レーシ
ング・メーターといえる丸型大径の“指針式”メーターを採用した。その理由は、いまでも
なく、指針の微妙な動きによる、あの熱く活きた情報こそスポーツカーの生命である
と考えたからである——さらに、メーターパネルの左右に機能的に配列されたクラ
スタースイッチと、ステアリングを握れば、まるでドライバーの身体の一部のように鋭
く、的確に反応する各コントロール類、そして、ステッチの入った本革の風合いをもつ
高級感にあふれたインストメントパネル……ニューフェアレディZのコクピットには、

これらの全てがラグジュアリーな質感と、ときどき登まれはクールなフィードバックと
にレイアウトされている。まさしく、重厚な機能美と、ファンタスティックなスポー
横溢する、本格コクピットといえるだろう。小径で握りの太いステアリングを
を踏みこめば、選ば
れた者の誇りとともに、
熱く高鳴る。胸の鼓動
を覚えるにちがいない。

FAIRLADY Z
CONTROL Z

PHOTO:SEATER 300ZX